とうきょうすくわくプログラム活動報告書　向陽台保育園

テーマ『雨や台風から音を感じる』

≪テーマ設定理由≫

大雨の日に窓から外を見る姿があった。

窓からの見た感じ方だけでなく、実際にテラスに出てみたり小雨の中を歩いて色んな気付きがあるのではないかと思ったため。

≪環境設定・準備したもの≫

雨、雨具（カッパなど）、タライ

・日頃から意識的に窓を開け、外の音を感じられるようにする。

・雨の日には窓側に行き、‘何か’に気付けるような促しをする。

≪活動スケジュール≫

① 雨の強弱を目や耳で感じる	6月25日
② 実際に雨や風に触れる	９月５日

≪活動内容・子どもの様子≫

室内遊びをしていると、突然雨の音が聞こえてきた。最初は「何の音？」と辺りを見回す姿があり、窓へ近付く。「すごいね」「降ってるね」「いっぱいだね」と大雨を感じるような表現の言葉が多く出ていた。

後日、担任がジョウロで雨を表現するとタライを笠に見立て雨を凌ごうとする姿が見られた。その際、水が当たる音を「パラパラ！」と表現したり振動を感じて楽しんでいる。

雨の日に数人ずつ傘をさして園庭へ。いつもと違う状況下で、傘の外へ手を伸ばし「ひゃっ、冷たいー」と興奮している。濡れた葉っぱが艶艶していることに気が付いたり、水たまりの波紋に注目したりする様子があった。

≪振り返り・気付き≫

窓を開けたことで、音に気付き見に行こうと興味を示す姿があり‘なんだろう’と探究心が豊富で「なんで？」が多い2歳児だからこその行動であったように感じる。雨や水が当たる感覚の表現の仕方は子どもにより様々であることを知れた。

傘をさして園庭に出ることは非日常的で楽しさもあり、あそびの中だからこそじっくりと観察する姿も見られたのではないか。雨に伴い、雷の音にも関心を寄せる姿があったため稲光なども写真などで見せて興味の幅が広がっていけたらよいなと思う。

また、空からは他に何が降ってくるのか・風など様々な自然現象にも興味が持てるよう日々声をかけていきたい。